

**エピソード**

「コロコロの道をつくろう!」とトイや筒をつなげ、ビールケースで高さを出しながらコースをつくって遊んでいます。バケツやペットボトルで水を流したり、ペットボトルキャップやカプセルを転がしたりすることを何度も楽しんでいます。何度も水を流すうちに、水の勢いでトイがズレて地面に落ちてしまいました。子ども達は「わぁ壊れちゃったね」と友達と一緒に笑ったあと、コースをつくり直します。「今は工事中なので待ってくださーい」と友達に知らせながら元のように戻します。気付かず流そうとしている子もいますが、保育者が「今は工事中なんだって。完成するまで待っていてね」と声を掛けると、「まだですかー?」「(もう流して)いい?」と友達に聞きながら、工事が終わるまで待つ姿がありました。「完成しましたー!」という声が聞こえると、周りで待っていた友達が一斉に流し始め、また水を流す楽しさを感じていました。その友達の姿を見て、工事していた子も「大人気やな」と嬉しそうに笑っていました。

**子どもの育ちや学び**

水を流そう  
(楽しい)

コースが壊れちゃった  
(面白い)

工事中だから待って  
くださーい  
(言葉での伝え合い)



もういい?  
(期待・ワクワク)



- ・友達と一緒に水を流して遊ぶことを楽しむ。
- ・コースが壊れたことさえも面白く、友達と一緒に笑い合う。
- ・壊れたコースを直していることを周りの友達に言葉で知らせる。
- ・友達がコースを直してくれていることを知り、工事が終わるまで楽しみに待つ。

**保育者の思い**

- ・コースが壊れてしまって残念だなと思う気持ちよりも、子ども達はみんな笑って、面白さを友達と分かち合っていました。ものごとの感じ方はそれぞれで、子どもが感じたことに寄り添っていきなりたいと思いました。
- ・水を流す楽しさから、コースを直している友達がいることに気付いていない子がいました。保育者が間に入って友達の存在を知らせることで、言葉でやり取りをしながら、楽しみに待つ姿につながりました。

**家庭だったら・・・**

大人が残念だなと感じる出来事でも、子ども達はそのなかにある面白さを見出していました。新しいことに出会った時や思いもよらないことが起こった時にどんなふうを受け止めるのか、子どもの感じたことを見守っていきなりたいですね。